電子メールに対する意識についてのアンケート(木島班)

調査者:国文学科2年 木島康太、白石亮、中島、山中祐太

この調査は大学の授業(日本語学基礎演習1)の課題として行うものです。回答していただいた データは統計的に処置をするので、個人が特定されることはありません。また、調査データの管理 は責任を持って行いますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

- I.あなた自身についての質問です。選択肢のあるものについては、当てはまるもの1つにOをつ けてください。
 - ① 性別〔1:男 · 2:女〕
 - ② 年齢 〔 歳〕
 - ③ 電子メールを使用しますか〔1:する ・ 2:しない〕 ※以下の質問は③で[1:する]と回答した方のみご回答ください。
 - Π
 - ④ この一週間を平均して考えると、一日何件ぐらいのメールを送信していますか。 〔約 诵]
 - 5 あなたがメールを作成する際、以下の(1)~(8)の相手に意識して敬語を使用しますか。 どちらか当てはまるものに〇をしてください。

 - (2) 親しくない同性の友達に送るメール
 - (3) 目上の同性の人に送るメール
 - (4) 目下の同性の人に送るメール
 - (5) 一番親しい異性の友達に送るメール

 - (7) 目上の異性の人に送るメール
 - (8) 目下の異性の人に送るメール

- (1) 一番親しい同性の友達に送るメール 〔 1.使用する ・ 2.使用しない 〕 〔 1.使用する ・ 2.使用しない 〕
 - 〔 1.使用する ・ 2.使用しない 〕
 - 〔 1.使用する ・ 2.使用しない 〕
 - 〔 1.使用する ・ 2.使用しない 〕
- (6) 親しくない異性の友達に送るメール 〔 1.使用する ・ 2.使用しない 〕
 - 〔 1.使用する 2.使用しない 〕
 - 〔 1.使用する ・ 2.使用しない 〕

- ⑥ あなたがメールを作成する際、以下の(1)~(10)の相手に対して、タイトルをつけますか? 以下の「1. つける」「2. 場合によってつける」「3. つけない」の中から当てはまるもの1つにOを 付けて下さい。
- (1) 一番親しい同性の友達に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
 (2) 親しくない同性の友達に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
 (3) 目上の同性の人に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
 (4) 目下の同性の人に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
 (5) 一番親しい異性の友達に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
 (6) 親しくない異性の友達に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
 (7) 目上の異性の人に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
 (8) 目下の異性の人に送るメール [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]
- (9) 会社のグループやクラスの人、全員に同報で送るメール
 - [1.つける 2.場合によってつける 3.つけない]

ご回答ありがとうございました。

1、模擬調査票テーマ

国文学科在籍の文理学部生、およびその親における電子メールにおける男女差、年代差の違い

- 2、仮説
 - ① 女性の方がメールの送信数は多くなる。
 - →〔性別〕<メールの使用頻度> 質問④
 - ② 子世代の方がメールの送信数は多くなる。
 - →〔年代〕<メールの使用頻度> 質問④
- ③ 親世代の方が意識して敬語を使用する頻度が高い。
- →[年代] < 敬語を使用する頻度 > 質問⑤
- ④ 目上の人に対するメールで意識して敬語を使用する頻度は上がる。
- →[相手の身分]<敬語を使用する頻度> 質問⑤
- ⑤ 親世代の方が、タイトルをつける頻度が高い
 →[年代]<タイトルをつける頻度> 質問⑥
- ⑥ 男女においてタイトルをつける頻度に差は出ない。
 →[性別]<タイトルをつける頻度> 質問⑥
- 3、調査票の構成
 - Ⅰ····説明変数
 - Ⅱ・・・従属変数